

事業番号	06 06 03	事業改善シート(27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産業廃棄物適正処理推進事業費				担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	資源循環推進課		
	施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり 2 循環型社会の形成			E-mail	junkan@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S46 ~		

1 事業の概要

目指す姿	循環型社会の形成を推進するために、産業廃棄物処理業等の許可事務及び行政処分、並びに産業廃棄物の発生抑制・資源化の促進により、産業廃棄物の適正処理と良好な環境の確保を図る。 成果目標：産業廃棄物総排出量 3,677千t(H24) → 3,600千t(H29)		
------	---	--	--

現状(予算編成時)	・下水道の普及に伴い構造的に排出増が継続する下水汚泥については微増傾向が続いている。また、その他の産業廃棄物排出量についても景気の回復に伴い、微増傾向にある。産業廃棄物の排出抑制・資源化の推進に必要な啓発・施策に引き続き取り組んでいく。		
-----------	--	--	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 【都道府県は、市町村に対し必要な技術的援助を与えること。国、都道府県及び市町村は、国民及び事業者の意識の啓発を図るよう努めなければならない。】
	県民との協働による実施：実施は困難	長野県廃棄物処理計画

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)		
	○ 産業廃棄物総排出量：3,600千t【H29年度3,600千tに向け】 □ 長野県廃棄物処理計画(第3期)の目標値により算出		

成果目標・事業内容	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27		H28
				(当初)	(決算)	(当初)
	廃棄物処理施設設置許可にあたっての専門家意見聴取	直接	・対象施設の現地調査及び審査の実施	590	0	710
	産業廃棄物処理業等許可に係る審査資料照会	直接	・廃棄物処理業等の許可に係る審査	595	595	683
	多量及び準多量排出事業者に係る計画策定指導	直接	・多量及び準多量排出事業者に係る計画策定の指導	123	123	137
	産業廃棄物処理実績報告に係る経費	直接	・産業廃棄物処理の実績報告の受付審査	297	297	308
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物処理推進事業	出捐金負担金 直接	・(独)環境再生保全機構PCB廃棄物処理基金へ出捐 ・北海道PCB廃棄物処理事業広域協議会への負担金	13,173	13,154	13,204
	阿智処分場用地の維持管理経費	委託 直接	・阿智処分場用地の維持管理(委託先:沢地籍処分場丸備対策委員会)	4,380	3,867	4,992
	新・PCB廃棄物等保有状況調査事業	委託	・PCB特措法に基づく対象事業者向けアンケート調査(委託先:㈱地域総合計画)	6,674	6,458	-
廃棄物の適正処理の確保に関する条例の普及啓発	直接	・条例概要版(パンフレット)の増刷	-	-	78	
事務経費(経常)	直接	・消耗品、コピー使用料等	2,022	1,499	2,022	
			合計	27,854	25,993	22,134

事業コスト	区分(単位:千円)		25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0
		当初予算	34,487	29,460	27,854	22,134
		補正予算	669	0	0	
		合計(A)	35,156	29,460	27,854	22,134
	Aの財源	一般財源	8,780	0	6,674	0
		県債	0	0	0	0
		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	26,376	29,460	21,180	22,134
	決算額(B)	34,187	27,071	25,993		
概算人件費	職員数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00	
	概算人件費(C)	66,064	66,064	66,208	66,208	
	概算事業費(B(A)+C)	100,251	93,135	92,201	66,208	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
産業廃棄物総排出量	4,227千t	3,615千t(H26)	4,227千t(H26)	未達成	3,600千t(H27)
産業廃棄物3R実践協定締結事業者数	150者	175者	153者	未達成	185者

目標に対する成果の状況	・産業廃棄物の排出量については、直近のH26年度実績では下水道汚泥等の増加により目標達成には至らなかった。 ・産業廃棄物3R実践協定締結事業者数は、前年度末を上回ったものの、H29・30年度の入札参加資格審査の基準日がH28年10月1日であることから新規申請が伸びなかったため、目標達成には至らなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・廃棄物処理施設を巡る紛争が多くなることから、引き続き廃棄物条例の周知を図るとともに、法令等の適切な運用により、廃棄物処理施設の厳正な審査を行う。 ・最終処分場の逼迫に備え、阿智村伍和地区廃棄物処理施設用地を今後も適正に管理していく。 ・長野県廃棄物処理計画(第4期)に基づき、排出抑制等に関する研修会の開催等により排出事業者の支援を行い、産業廃棄物の減量化を進めていく。